



# 答 申 書

令和3年1月27日

川越市総合計画審議会

川総計審発第5号

令和3年1月27日

川越市長 川合善明様

川越市総合計画審議会  
会長 原 敏 成



第四次川越市総合計画について（答申）

令和2年8月17日付け川政発第93号をもって諮問のあった標記の件につきましては、次の意見を添え、別添のとおり答申します。

なお、意見は、特に留意すべき点として、計画の実施に当たっては尊重されたい。

- 1 第四次川越市総合計画の基本構想の将来都市像である「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」の実現に向け、当審議会での様々な意見や議論を踏まえ、後期基本計画の各施策を着実に進めていただきたい。
- 2 SDGs（持続可能な開発目標）が目指す社会は、総合計画の基本構想の将来都市像と目標を同じとするものであり、総合計画の推進に当たっては、SDGsの視点を常に意識して取り組んでいただきたい。
- 3 計画の実施に当たっては、様々な分野にわたる横断的な視点が重要である。様々な部署が柔軟に連携して取り組むことで、より効果的・効率的に施策を進めていただきたい。
- 4 人口減少問題や経済規模の縮小への対策に積極的に取り組むため、後

期基本計画に包含された川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方をしっかりと継承し、子育てや産業などをはじめとした、地方創生の取組を引き続き着実に進めていただきたい。

- 5 福祉をはじめとした地域の様々な活動において、担い手の高齢化や人材不足が課題となっている。新たな担い手の育成や安定的な確保に向け、しっかりと取り組んでいただきたい。
- 6 グローバル化の進展により外国籍市民が増加しており、地域社会での共生がますます重要となっている。言葉の壁を取り除き、相互理解が深められるよう、各施策を進める中で、多文化共生の推進を図っていただきたい。
- 7 川越の歴史や文化、豊かな緑、自然を守り育て、次の世代に引き継ぐためにも、都市基盤整備との調和を図り、バランスのよい魅力的なまちづくりを進めていただきたい。
- 8 近年、大規模災害が頻発している状況である。安全に避難するための環境整備に速やかに取り組み、自ら避難することが困難な方への避難支援体制を充実するなど、災害に強く、強靱な地域づくりを進めていただきたい。また、新型コロナウイルス感染症を含めた様々な危機事象から市民を守る危機管理体制の強化にしっかりと取り組んでいただきたい。
- 9 住民自治の推進は重要な事項であり、とりわけ、市民参加のしくみづくりにおいて、若者や子育て世代など、様々な方々の意見も反映されるよう、しくみの充実を図っていただきたい。
- 10 厳しい財政状況のもと、次の世代に過度な負担を残すことなく、将来にわたり必要な行政サービスを提供するため、行政経営マネジメントや社会資本マネジメントの視点を踏まえ、事業の選択と集中、不断の業務改善や経費削減に取り組んでいただきたい。

11 令和4年に迎える市制施行100周年は、記念すべき節目であるとともに、市民が川越市の魅力を再認識し、住むことに誇りと愛着を持つまたとない機会である。市内各種団体等との連携のもと、多くの市民と共にお祝いできるよう、取り組んでいただきたい。